

健康づくり標語の優秀作品が決まりました

大山町は今年「大山町民総健康づくり運動」を展開中です。その一環として、健康づくり標語を募集したところ、たくさんの方にご応募いただきました。その中から、優秀作品が決まり、大山町総合文化祭で表彰を行いました。その作品をご紹介します。

- 最優秀賞：「毎日の 健康づくりで いい笑顔」 赤川大子さん
 優秀賞：「大山の 風と一緒に ウォーキング」 中原めぐみさん
 優秀賞：「家庭から 地域に広がれ 健康づくり」 大森幸江さん
 佳作：「変えよう生活習慣 伸ばそう健康づくり」 松原慎一さん
 佳作：「健康な 体づくりが 未来を築く」 赤川勲永さん
 佳作：「運動で ポッコリお腹を 撃退だ！」 市原史恵さん

インフルエンザ

予防接種で重症化予防

インフルエンザの予防接種は発症・重症化防止に効果的です。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は5か月間とされています。より効果的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を受けておくことが望ましいとされています。

【大山町の予防接種に対する助成】

○65歳以上の高齢者

お送りしています「受診票」を医療機関にお持ちいただくと、自己負担金1,000円（生活保護受給の方は無料）で接種できます。

○子ども（6か月～中学生）・妊婦の方

医療機関で接種費用全額をお支払いいただき、領収書・母子手帳とともに「大山町インフルエンザワクチン予防接種費用助成金申請書」を提出いただくと、自己負担金1,000円（生活保護受給の方は0円）を引いた金額を口座にお返しします。

※接種期間、申請書提出先など、くわしくはお送りしています通知をごらんください。



冬場の食中毒予防！

冬場に多く発生する食中毒の代表格はノロウイルスです。毎年10月から増えはじめ、11月に急増する傾向にあり、この時期の感染性胃腸炎の集団発生の多くはノロウイルスによるものと考えられます。

ノロウイルスによる食中毒は、主に調理従事者を介したものとなっています。感染力が強く、年間の食中毒患者数の約半分を占めるほど大規模になりやすいため、冬場の健康管理をするうえで特に注意が必要です。

<予防のポイント>

1 調理する人の健康管理

家族の健康状態に注意する。

症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。

2 調理前などの手洗い

トイレの後や料理の盛り付けの前などに手洗いをする。汚れの残りやすいところは、特に丁寧に洗う。

3 調理器具の消毒

塩素又は熱湯での消毒が有効。アルコール消毒はあまり効果がない。

洗剤で十分に洗浄した後、家庭用の塩素系漂白剤を薄めて浸すようにふく。包丁、食器、ふきんなどは、熱湯消毒（85度以上で1分以上）が有効。



◆問い合わせ先

健康対策課 ☎0859-54-5206